

自然環境保全基礎調査成果物一覧

自然環境保全基礎調査

調査項目	成果物
自然度調査	<ul style="list-style-type: none"> ●現存植生図(1/200,000)(都道府県・53面) ●植生自然度図(1/200,000)(都道府県・53面)
すぐれた自然調査	<ul style="list-style-type: none"> ●すぐれた自然調査(1/200,000)(都道府県・53面)
環境寄与度調査	<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境保全調査報告書(自然環境改変状況調査)
総合とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境保全調査報告書(第1回緑の国勢調査)

〈第2回自然環境保全基礎調査〉

調査項目	成果物
植生調査	<ul style="list-style-type: none"> ●現存植生図(1/50,000)(608面) ●植生調査報告書(都道府県別 45冊) ●植生調査報告書(全国版)
特定植物群落調査	<ul style="list-style-type: none"> ●特定植物群落調査報告書(都道府県別 47冊) ●特定植物群落調査報告書(全国版)
動物分布調査	<ul style="list-style-type: none"> ●動物分布調査報告書(哺乳類)(都道府県別 47冊) ●動物分布調査報告書(哺乳類)(全国版) ●動物分布調査報告書(哺乳類)(全国版その2) ●動物分布調査報告書(鳥類)(全国版) ●動物分布調査報告書(両生類・は虫類)(都道府県別 47冊) ●動物分布調査報告書(両生類・は虫類)(全国版) ●動物分布調査報告書(両生類・は虫類)(全国版その2) ●動物分布調査報告書(淡水魚類)(都道府県別 47冊) ●動物分布調査報告書(淡水魚類)(全国版) ●動物分布調査報告書(昆虫類)(都道府県別 47冊) ●動物分布調査報告書(昆虫類)(全国版)
表土改変状況調査	<ul style="list-style-type: none"> ●表土改変状況調査報告書
湖沼調査	<ul style="list-style-type: none"> ●湖沼調査報告書(都道府県別 37冊) ●陸水域関係調査報告書(湖沼)(全国版)
河川調査	<ul style="list-style-type: none"> ●河川調査報告書(都道府県別 47冊) ●陸水域関係調査報告書(河川)(全国版)
海域調査	<ul style="list-style-type: none"> ●干潟・藻場・サンゴ礁分布調査報告書(都道府県別 39冊) ●海域環境調査報告書(都道府県別 39冊) ●海域環境調査報告書(全国版) (海岸調査、海域環境調査、干潟・藻場・サンゴ礁分布調査) ●海域生物調査報告書(都道府県別・39冊) ●海域調査報告書 海域生物調査(全国版) ●海域調査報告書 海域生物調査(調査地区詳細垂直分布図)(全国版)

調査項目	成果物
総合とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●動植物分布図(1/200,000)(都道府県別 53面) ●日本の自然環境 ●第2回自然環境保全基礎調査報告書(緑の国勢調査) ●第2回自然環境保全基礎調査報告書(緑の国勢調査 資料編)

〈第3回自然環境保全基礎調査〉

調査項目	成果物
植生調査	<ul style="list-style-type: none"> ●現存植生図(1/50,000)(685面) ●植生調査報告書(都道府県別 44冊) ●植生調査報告書(全国版) ●1/3,000,000現存植生図
特定植物群落調査	<ul style="list-style-type: none"> ●特定植物群落調査報告書 追加・追跡調査(都道府県別 47冊) ●特定植物群落調査報告書 生育状況調査(都道府県別 47冊) ●特定植物群落調査報告書(全国版)
動植物分布調査 (環境指標種調査) (全種調査)	<ul style="list-style-type: none"> ●小冊子「生きもの地図ができました。」 ●動植物分布調査報告書(哺乳類) ●動植物分布調査報告書(鳥類) ●動植物分布調査報告書(両生類・爬虫類) ●動植物分布調査報告書(淡水魚類) ●動植物分布調査報告書(昆虫(チョウ)類) ●動植物分布調査報告書(昆虫(トンボ)類) ●動植物分布調査報告書(昆虫(ガ)類) ●動植物分布調査報告書(昆虫(セミ及び甲虫)類) ●動植物分布調査報告書(陸産及び淡水産貝類)
自然景観資源調査	<ul style="list-style-type: none"> ●自然景観資源調査報告書(都道府県別・47冊) ●自然景観資源調査報告書(全国版)
湖沼調査	<ul style="list-style-type: none"> ●湖沼調査報告書(地方別 7分冊) ●湖沼調査報告書(全国版)
河川調査	<ul style="list-style-type: none"> ●河川調査報告書(地方別 8分冊) ●河川調査報告書(全国版)
海岸調査	●資料「海岸調査の結果」
海域生物環境調査	<ul style="list-style-type: none"> ●海域生物環境調査報告書(都道府県別 39冊) ●海域生物環境調査報告書(全国版)
総合とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回自然環境保全基礎調査総合解析報告書(総括編) ●第3回自然環境保全基礎調査総合解析報告書(解析編) ●第3回自然環境保全基礎調査磁気データファイルの概要 ●自然環境情報図(1/200,000)(都道府県別・53面)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●植物目録(上)(中)(下) ●資料「過去における鳥獣分布調査について」

〈第4回自然環境保全基礎調査〉

調 査 項 目	成 果 物
植 生 調 査	<ul style="list-style-type: none"> ● 現存植生図(1/2,500,000) ● 植生自然度図(1/2,500,000) ● 植生調査報告書(全国版) ● 植生改変図(1293面)
巨 樹 巨 木 林 調 査	<ul style="list-style-type: none"> ● 巨樹・巨木林調査報告書(地方別・8分冊) ● 巨樹・巨木林調査報告書(全国版)
環 境 指 標 種 調 査	<ul style="list-style-type: none"> ● 小冊子「1990年身近な生きもの調査 調査結果」 ● 海の生きもの地図
動 植 物 分 布 調 査	<ul style="list-style-type: none"> ● 動植物分布調査報告書(哺乳類) ● 動植物分布調査報告書(鳥類) ● 動植物分布調査報告書(両生類・爬虫類) ● 動植物分布調査報告書(淡水魚類) ● 動植物分布調査報告書(陸産及び淡水産貝類) ● 動植物分布調査報告書(陸産及び淡水産貝類 別冊 分布図) ● 動植物分布調査報告書(昆虫(チョウ)類) ● 動植物分布調査報告書(昆虫(ガ)類) ● 動植物分布調査報告書(昆虫(トンボ)類) ● 動植物分布調査報告書(昆虫(セミ及び甲虫)類)
河 川 調 査	<ul style="list-style-type: none"> ● 河川調査報告書(地方別 8分冊) ● 河川調査報告書(全国版)
湖 沼 調 査	<ul style="list-style-type: none"> ● 湖沼調査報告書(地方別 7分冊) ● 湖沼調査報告書(全国版) ● 湖沼調査報告書(全国版・資料集)
海 岸 調 査	<ul style="list-style-type: none"> ● 海岸調査報告書(全国版)
海 域 生 物 環 境 調 査	<ul style="list-style-type: none"> ● 海域生物環境調査報告書(干潟) ● 海域生物環境調査報告書(藻場) ● 海域生物環境調査報告書(サンゴ礁) ● 海域生物環境調査 サンゴ礁分布図(1/100,000)
生 態 系 総 合 モ ニ タ リ ン グ 調 査	<ul style="list-style-type: none"> ● 生態系総合モニタリング調査報告書
総 合 と り ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境情報図(1/200,000) ● 第4回自然環境保全基礎調査総合解析報告書(総括編) ● 第4回自然環境保全基礎調査総合解析報告書(解析編) ● 第4回自然環境保全基礎調査磁気データファイルの概要

資料40 自然公園等施設の整備状況

(1) 国立・国定公園

年度	公園名	事業名	事業所	事業内容	事業費
平成元	大山隠岐国立公園	大山駐車場整備	大山町	屋内駐車場(第2期) 鉄骨造2階3層 A=5,322m ² 259台	254,085 ^{千円}
	大山隠岐国立公園	※大山自然科学館整備	大山町	マルチ映像ホール増設 RC造 128m ² マルチスライドシステム等 一式	61,800
	計	※(財)日本宝くじ協会助成事業			315,885
平成2	大山隠岐国立公園	大山頂上周回木道	大山町	木道 L=332m W=1.0~4.0m サイト造園 A=305m ²	58,000
	計				58,000
平成3	山陰海岸国立公園	浦富休憩舎改築事業	岩美町	休憩舎兼公衆便所 RC造 A=130.0m ²	56,200
	大山隠岐国立公園	大神山公衆便所(便所再整備)改築事業	大山町	公衆便所 RC造 A=40.32m ²	47,000
	小計				103,200
	大山隠岐国立公園	公衆便所再整備事業(間接補助事業—赤碕町)	赤碕町	公衆便所改築 木造 A=44.8m ²	15,000
	小計				15,000
	計				118,200
平成4	山陰海岸国立公園	岩戸公衆便所改築事業	福部村	公衆便所改築 RC造水洗 A=33m ²	23,800
	氷ノ山・後山・那岐山国定公園	雨滝公衆便所改修事業	国府町	公衆便所改築 RC造水洗 A=24m ²	15,800
	氷ノ山・後山・那岐山国定公園	氷ノ山駐車場整備事業	若桜町	駐車場整備、舗装 A=4,707m ²	30,000
	氷ノ山・後山・那岐山国定公園	氷ノ山野営場車道拡幅工事	〃	取合道路車道拡幅 W=5.0m L=560m	55,000
	小計				124,600

年度	公園名	事業名	事業所	事業内容	事業費
平成4	(間接補助事業) 山陰海岸国立公園	公衆便所再整備事業	鳥取市	公衆便所改築 RC造水洗 A=37.6m ²	17,700 ^{千円}
	小計				17,700
	計				142,300
平成5	大山隠岐国立公園	一向平公衆便所改築事業	東伯町	公衆便所改築木造水洗 A=42.64m ²	37,000
	大山隠岐国立公園	大平原公衆便所改築事業	江府町	公衆便所改築木造水洗 A=43m ²	33,800
	大山隠岐国立公園	大休峠避難小屋改築事業	大山町	木造平屋 A=33m ²	31,000
	氷ノ山・後山・那岐山 国定公園	須賀ノ山登山道整備事業	若桜町	歩道 W=1.0~1.5m L=2,500m 休憩舎 木造 A=30m ²	32,600
	小計				134,400
	大山隠岐国立公園	公衆便所再整備事業	大山町	公衆便所改築木造水洗 A=21m ²	12,600
	小計				12,600
	計				147,000
平成6	大山隠岐国立公園	大山寺園地公衆便所改築事業	大山町	公衆便所改築木造水洗 A=40.0m ²	26,000
	氷ノ山・後山・那岐山 国定公園	扇ノ山登山道整備事業	八東町	歩道 W=1.0~1.5m L=2,000m 避難小屋 木造 A=48.6m ²	63,600
	氷ノ山・後山・那岐山 国定公園	那岐山休憩所整備事業	智頭町	休憩所木造 A=30.0m ²	23,000
	小計				112,600
	氷ノ山・後山・那岐山 国定公園	公衆便所及び野営場再整備事業	佐治村	公衆便所改築木造水洗 A=37.0m ² 休憩所 木造 A=164.0m ²	31,200
	小計				31,200
	計				143,800

年度	公園名	事業名	事業所	事業内容	事業費
平成 7	大山隠岐国立公園	一向平野営場再整備事業	東伯町	炊事棟改築木造 A=47.0m ² テントサイト A=4,200m ² 駐車場 A=1,050m ²	50,000 ^{千円}
	大山隠岐国立公園	大山夏山登山道整備事業	大山町	歩道 W=1.0~1.5m L=2,800m	38,000
	小計				88,000
	氷ノ山・後山・那岐山 国定公園	山王滝野営場再整備事業	佐治村	管理棟木造平屋建 A=108.0m ² 炊事棟改築木造 A=62.0m ² テントサイト A=4,100m ²	72,000
	小計				72,000
	計				160,000
平成 8	大山隠岐国立公園	一向平野営場再整備事業	東伯町	炊事棟新築木造 A=50.9m ² 公衆トイレ木造水洗 A=54.1m ² テントサイト A=6,600m ² 駐車場 A=1,471m ²	90,000
	大山隠岐国立公園	大山登山道標識整備事業	大山町	標識 15基	20,000
	小計				110,000
		三徳山ふるさと自然のみち整備事業	三朝町	歩道 W=1.0~1.5m L=1,252m 休憩所 木造 A=10m ² 2棟	30,000
	小計				30,000
	計				140,000

(2) 県立公園（単県補助事業）

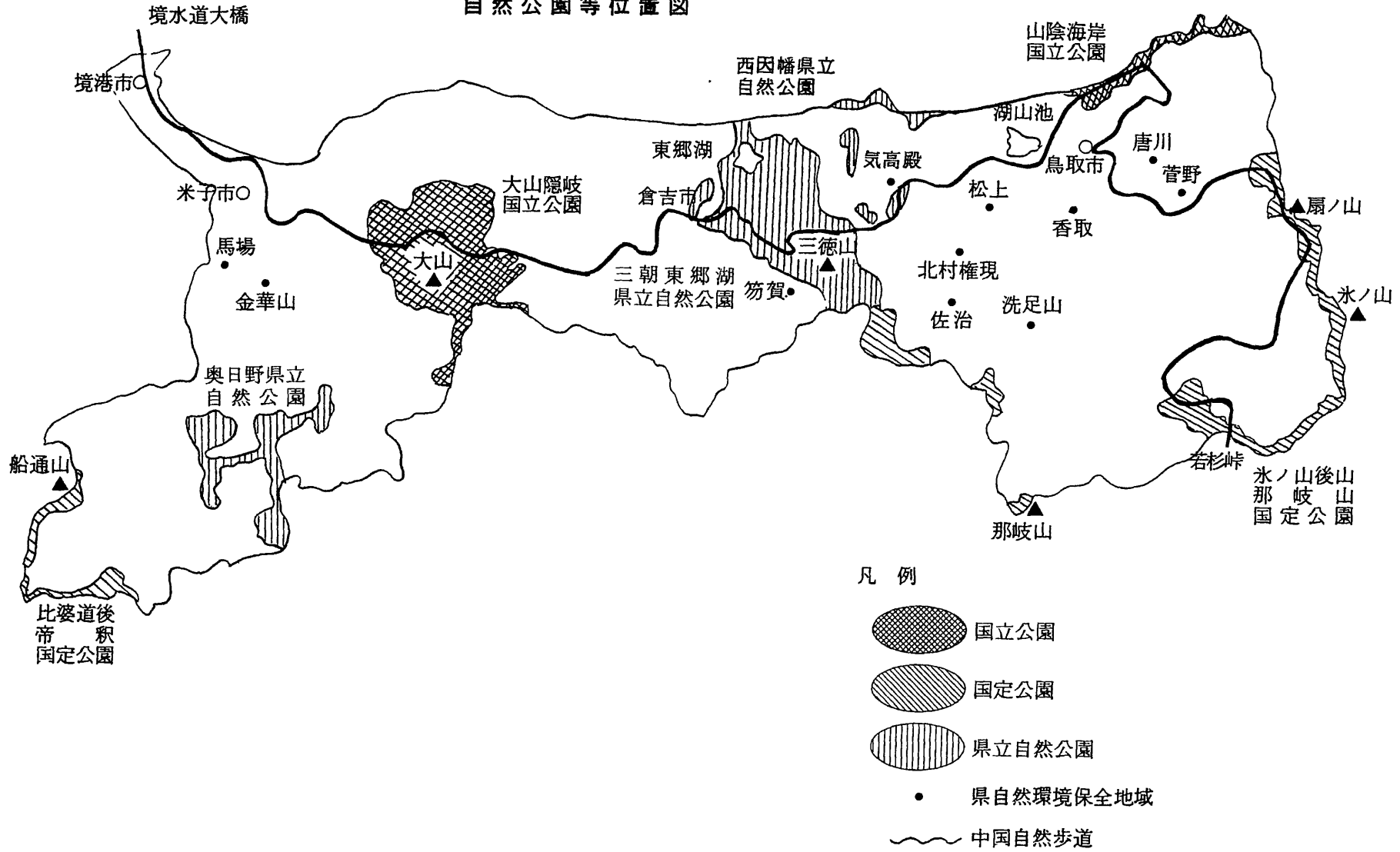
年度	公園名	事業名	事業所	事業内容	事業費
平成 元	三朝東郷湖 県立自然公園	小鹿溪歩道	三朝町	探勝歩道 L=242.9m W=1.0~1.5m	7,004 ^{千円}
	三朝東郷湖 県立自然公園	大平山園地	倉吉市	園地整備 テントサイト 7基	3,000
	奥日野県立 自然公園	花見山歩道	日南町	登山歩道 L=652m W=1.5m	3,166
	計				13,170
2	西因幡県立 自然公園	勝山城跡歩道	気高町	歩道整備 歩道 L=115m W=1.0~1.5m 休憩舎 木造 A=10.5m ²	3,501
	西因幡県立 自然公園	鷲峰山登山道	鹿野町	登山道新設 L=489.5m W=1.0~1.5m	4,391
	奥日野県立 自然公園	塔の峰公園	日野町	休憩舎 木造 A=20.0m ²	2,500
	計				10,392
3	西因幡県立 自然公園	鷲峰山登山道	鹿野町	登山道新設 L=815.8m W=1.0m	4,199
	奥日野県立 自然公園	塔の峰公園	日野町	防護柵 77m テーブル、ベンチ 1式	4,223
	奥日野県立 自然公園	花見山休憩舎	日南町	休憩舎 木造 A=16.0m ²	2,005
	計				10,427
4	西因幡県立 自然公園	勝山城跡歩道	気高町	歩道新設 W=1.0m L=330m W=2.0m L=32m	2,009
	西因幡県立 自然公園	鷲峰山登山道	鹿野町	登山道 W=1.5m L=656.7m 東屋1、指導標3、案内板1	6,129
	西因幡県立 自然公園	長尾岬歩道	青谷町	歩道新設 W=1.5m L=336.1m	9,044
	三朝東郷湖 県立自然公園	三徳山歩道	三朝町	歩道新設 W=1.0~1.5m L=140m	5,000
	奥日野県立 自然公園	花見山駐車場	日南町	駐車場整備 A=3,429m ²	8,348

年度	公園名	事業名	事業所	事業内容	事業費
平成 4	計				千円 30,530
5	西因幡県立 自然公園	鷲峰山登山道 標識	鹿野町	登山道 案内板 14基	3,016
	西因幡県立 自然公園	長尾岬歩道	青谷町	歩道 W=1.5m L=71.8m	9,041
	三朝東郷湖 県立自然公園	三朝温泉歩道 駐車場	三朝町	駐車場 A=465m ²	4,102
	奥日野県立 自然公園	石霞溪園地	日南町	休憩舎 木造 2棟 公衆便所 木造 1棟	10,319
	計				26,478
6	西因幡県立 自然公園	長尾岬歩道	青谷町	歩道 W=1.5m L=164m	7,895
	三朝東郷湖 県立自然公園	勝山城跡駐車場	気高町	駐車場舗装 A=328m ²	2,065
	三朝東郷湖 県立自然公園	大平山園地	倉吉市	歩道 W=2.0~3.0m L=332m 駐車場舗装 A=650m ²	6,077
	計				16,037
7	西因幡県立 自然公園	勝山城跡車道	気高町	歩道 W=3.5m~5.3m L=127m	2,513
	三朝東郷湖 県立自然公園	太平山園地	倉吉市	歩道舗装 W=1.6m L=250m ベンチ 3基	4,762
	奥日野県立 自然公園	石霞溪歩道	日南町	歩道 W=1.5m L=18.5m 標識 1基	5,005
	計				12,280
8	三朝東郷湖 県立自然公園	太平山園地	倉吉市	給排水施設一式 木段 25段・ベンチ 1基	7,200
	奥日野県立 自然公園	滝山園地	日野町	休憩所木造 A=41.6m ²	10,023
	計				17,223






(3) 中国自然歩道

年度	整備路線名	事業か所	事業内容	事業費
平成 4 (再整備)	川床 一向平	大山町 東伯町	歩道 W=1.0~1.5m L=2,880m 標識 L=6,220m	10,000 ^{千円}
	羽衣石 浜坂	東郷町 三朝町 鹿野取市	歩道 W=1.5m L=1,647m 標識 L=24,850m	12,000
	計			22,000
5 (再整備)	岩戸・大谷	福部村 岩美町	歩道 W=1.0~1.5m L=3,770m 休憩舎 木造 A=20m ²	20,000
	岩常・美敷	岩美町 国府町	標識整備 L=37.9km 休憩舎 木造 A=20m ²	12,000
	計			32,000
6 (再整備)	姫路・扇ノ山	郡家町	歩道 W=1.0~1.5m L=1,780m 標識整備 L=1.7km	28,200
	計			28,200
7 (再整備)	雨滝・扇ノ山	国府町	歩道 W=1.0~1.5m L=2,000m 標識整備 L=11.0km	30,000
	羽衣石公衆便所	東郷町	公衆便所改築木造 A=22.0m ²	17,100
	計			47,100
8 (再整備)	川床・赤松	大山町	歩道 W=1.0~1.5m L=1,300m 標識整備 L=12.1km	30,000
	三徳山公衆便所	三朝町	公衆便所改築木造 A=22.1m ²	20,100
	計			50,100

自然公園等位置図



凡例

-  国立公園
-  国定公園
-  県立自然公園
-  県自然環境保全地域
-  中国自然歩道

資料41 自然科学館の利用状況

施設名 年度	大山自然科学館	山陰海岸自然科学館	計
62	65,600	13,046	78,646
63	67,792	19,413	87,205
元	75,598	14,974	90,572
2	87,247	13,872	101,119
3	73,530	15,772	89,302
4	71,618	15,125	86,743
5	70,965	14,685	85,650
6	91,670	11,033	102,703
7	82,250	10,432	92,682
8	57,090	9,335	66,425

資料42 自然解説実績

区分 年度	大山自然解説		山陰海岸自然解説	
	日数	参加者	日数	参加者
62	55	2,080	9	287
63	55	2,254	9	292
元	53	2,250	8	285
2	52	2,291	7	292
3	55	2,341	7	224
4	56	2,432	6	266
5	57	1,158	6	152
6	60	1,009	8	118
7	48	965	5	585
8	30	840	4	79

資料43 自然観察指導員 自然体験リーダー研修実績

年度	期日	場所	参加者
平成 3	平成 3 年10月19日～20日	江府町（鏡ヶ成）	4 5 名
4	平成 4 年 8 月29日～30日	鳥取市・岩美町（牧谷）	5 1 名
5	平成 5 年10月30日～31日	倉吉市・三朝町	4 3 名
6	平成 6 年10月15日～16日	江府町（鏡ヶ成）	4 3 名
7	平成 7 年 7 月22日～23日	鳥取市（鳥取砂丘）	2 1 名
8	平成 8 年 6 月15・16日 7 月13・14日	江府町（鏡ヶ成）	4 2 名

資料44 公害関係事犯検挙状況

(平成8年中)

署別	法令法	廃棄物処理		水濁法		砂利採取法		河川法		と畜場法		自然公園法		漁業法等		海岸法		へい獣処理法		自然環境保全条例		合計		前年同期		
		件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	
岩美		0	0												0	0							0	0	0	0
鳥取		0	0												0	0							0	0	0	0
郡家		2	3												0	0							2	3	2	1
智頭		1	1												0	0							1	1	0	0
浜村		2	2												0	0							2	2	5	7
倉吉		0	0												0	0							0	0	4	7
八橋		0	0												0	0							0	0	3	3
米子		3	1												0	0							3	1	22	18
境港		0	0												0	0							0	0	3	3
溝口		1	1												2	2							3	3	1	3
黒坂		1	2												0	0							1	2	0	0
合計		10	10												2	2							12	12	/	/
前年同期		38	38												2	4							/	/	40	42

公害苦情取扱い状況

(平成8年中)

措置別	公害種別	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	廃棄物	その他	合計
受理件数			5		180			3	10		198
措置別	話合いあっせん										9
	警告・指導		2		54			1			57
	検挙				1				10		11
	他機関通報							1			1
	措置不能				125			1			129
	その他										
前年苦情受理件数			2		153			4	2	2	163

資料45 県内石油製品年度別使用量の推移

(単位 k l)

年度	製品別	揮発油	ナフサ	ジェット燃料油	灯油	軽油	A重油	B重油	C重油	燃料油合計
	2	使用量	244,877	0	29,730	131,673	214,624	150,951	378	136,013
	(構成比)	(27.0%)	(0%)	(3.3%)	(14.5%)	(23.6%)	(16.6%)	(0.04%)	(11.7%)	(100.0%)
	前年伸率	4.2	—	28.4	14.7	2.8	4.6	△81.0	△1.5	4.9
3	使用量	251,998	0	28,328	131,213	231,102	162,858	4	137,275	942,778
	(構成比)	(26.7%)	(0%)	(3.0%)	(13.9%)	(24.5%)	(17.3%)	(0.0%)	(14.6%)	(100.0%)
	前年伸率	2.9	—	△4.7	△0.3	7.7	7.9	△98.9	0.9	3.8
4	使用量	260,809	0	26,220	133,972	236,191	162,979	0	131,764	951,935
	(構成比)	(27.4%)	(0%)	(2.8%)	(14.1%)	(24.8%)	(17.1%)	(0.0%)	(13.8%)	(100.0%)
	前年伸率	3.5	—	△7.4	2.1	2.2	0.1	皆減	△4.0	1.0
5	使用量	268,654	0	26,804	148,103	247,982	178,035	0	132,587	1,002,165
	(構成比)	(26.8%)	(0%)	(2.7%)	(14.8%)	(24.7%)	(17.8%)	(0.0%)	(13.2%)	(100.0%)
	前年伸率	3.0	—	2.2	10.5	5.0	9.2	—	0.6	5.3
6	使用量	281,047	0	24,660	142,659	266,456	191,963	0	147,434	1,054,219
	(構成比)	(26.7%)	(0%)	(2.3%)	(13.5%)	(25.3%)	(18.2%)	(0.0%)	(14.0%)	(100.0%)
	前年伸率	4.6	—	△6.9	△3.7	7.4	7.8	—	11.2	5.2
7	使用量	287,735	0	27,966	165,949	269,289	171,848	0	140,191	1,062,978
	(構成比)	(27.1%)	(0%)	(2.6%)	(15.6%)	(25.3%)	(16.2%)	(0.0%)	(13.2%)	(100.0%)
	前年伸率	2.4	—	13.4	16.3	1.1	△10.5	—	△4.9	0.8
8	使用量	297,608	0	27,969	163,445	278,521	163,245	0	137,071	1,067,859
	(構成比)	(27.9%)	(0%)	(2.6%)	(15.3%)	(26.1%)	(15.3%)	(0%)	(12.8%)	(100.0%)
	前年伸率	3.4	—	0	△1.5	3.4	5.0	—	△2.2	0.5

(注) 「エネルギー生産 需給統計年報」(通商産業大臣官房調査統計部)より抜すい

資料46 県内自動車保有台数の推移

(鳥取陸運支局調べ)

年月	平成2年 3月末	平成3年 3月末	平成4年 3月末	平成5年 3月末	平成6年 3月末	平成7年 3月末	平成8年 3月末	平成9年 3月末
台数	324,991	336,478	348,071	357,992	369,072	381,021	394,471	406,120

資料47 環境関係用語の解説

赤潮 アオコ (青粉)

水中にプランクトンが異常発生し、そのために水の色が赤みがかかった色 (赤潮) や緑色 (アオコ) に変る現象のこと。

悪臭物質

アンモニア、メチルメルカプタンその他の不快な臭いの原因となり、生活環境をそこなうおそれのある物質で悪臭防止法施行令に定める22物質をいう。(アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、トリメチルアミン、二硫化メチル、アセトアルデヒド スチレン、プロピオン酸、ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸、イソ吉草酸、プロピオンアルデヒド、ノルマルブチルアルデヒド、イソブチルアルデヒド、ノルマルバレルアルデヒド、イソバレルアルデヒド イソブタノール、酢酸エチル、メチルイソブチルケトン、トルエン、キシレン)

アメニティ (Amenity)

私達の生活環境を構成する自然や施設、歴史的、文化的伝統などが互いに他を活かし合うようにバランスがとれ、その中で生活する私達人間との間に真の調和が保たれている場合に生ずる好ましい感覚をいう

亜硫酸ガス (SO₂)

硫黄酸化物 (SO_x) の中で二酸化硫黄のことをいい、石炭や石油を燃焼することにより発生する。色はなく 刺激臭の強い気体で呼吸器を刺激し、喘息の発生を促進したり 植物を枯らしたりすることがある。

硫黄酸化物 (SO_x)

刺激臭の強い腐蝕性のある有害な硫黄ガスのことで、亜硫酸ガス (SO₂) のほかに無水硫酸 (SO₃) 等がある。大気汚染防止法施行令でばい煙中の硫黄酸化物の量が規制されている。

一酸化炭素

炭素含有物が不完全燃焼したときに発生する無色、無臭のガスで、主な発生源は自動車排気ガスといわれる。体内に吸入されると、血液中のヘモグロビンと結びつき酸素の補給を妨げ貧血を起こしたり 中枢神経を麻痺させたりする。

上乘せ基準

ばい煙又は排出水の排出の規制に関して、法で定めた一律の基準又は排出基準に代えて適用するものとして、都道府県知事が条例で定める、より厳しい基準をいう

SS (Suspended Solid)

水中の浮遊物質のことで、水の濁りの原因となる。空中の浮遊物質には粉じん、ばい煙等の語を使う

MPN (最確数 Most Probable Number)

大腸菌群の数を確率論的に算出する方法、水中の大腸菌群数は、通常この方法で表わされる。

環境影響評価 (環境アセスメント)

各種開発行為の実施に先立ち、それが大気、水質、生物等環境に及ぼす影響について予測、評価を行うことをいう

環境管理計画

地方公共団体が大気、水質、自然環境などを将来にわたり守り 適切に利用していくため策定する計画である。

この計画には、望ましい地域環境のあり方、それを実現するための基本的な方策、その方策を具体化する手順などが示される。

環境基準

環境基本法は「環境基準とは、大気の汚染、水質の汚濁、土壌の汚染及び騒音に係る環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準」と定義している。環境基準は行政上の目標基準であり 工場等を規制する規制基準とは異なる。

健康項目

水質汚濁物質の中で人の健康の保護に関する項目として環境基準が定められている項目をいい、現在カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ ベンゼン、セレンが定められている。

光化学オキシダント

自動車の排気ガスなどに含まれている窒素酸化物とガス状の炭化水素が太陽光線の紫外線のもとで化学反応をおこし、過酸化物質ができる。これを光化学オキシダントという。このオキシダントはオゾン
を主体とし、スモッグを形成し、“目がいたい” “せきこむ” “呼吸が苦しい”などの症状を引き
おこす。

最終処分場

一般廃棄物及び産業廃棄物を埋立て処分するに必要な場所及び施設、設備の総体をいう。産業廃棄物
処分場には、安定型（廃プラスチック等） 管理型（汚でい等） しゃ断型（有害物質を含む廃棄物）
がある。

酸性雨

雨のpH（水素イオン濃度）は大気中の炭酸ガスの溶解により5.6前後を示すのが普通であり、これ
より低いpHの雨が酸性雨とされている。工場や自動車から排出される硫黄酸化物や窒素酸化物などが
溶解するのが原因といわれている。

COD（化学的酸素要求量 Chemical Oxygen Demand）

湖沼や海域の有機物による汚濁の程度を示すもので、水中の汚濁物質を酸化剤で化学的に酸化すると
きに消費される酸素量をいい、数値が高いほど汚れが大きいことを示している。

浄化槽

水洗し尿を沈でん分離あるいは微生物の作用による腐敗又は酸化分解等の方法によって処理し、それ
を消毒し、放流する施設をいう。水洗し尿のみを処理する施設を単独浄化槽、水洗し尿及び生活雑排水
（厨房排水、洗たく排水等）を一緒に処理する施設を合併浄化槽という。

振動レベル

振動の加速度をデシベル（dB）で表した加速度レベルに振動感覚補正を加えたもので、単位として
は、デシベル（dB）が用いられる。通常振動感覚補正回路をもつ公害用振動計により測定される。

水準点

土地の標高を表す標石で、水準測量の基準として用いられている。地盤の変動状況を測定するには、
この水準点を用い、標高の変化を精密水準測量によって測り、変動を出す。

生活環境項目

水質汚濁物質の中で生活環境に悪影響を及ぼすおそれのあるものとして環境基準に定められた項目をいい、現在pH、DO、BOD、COD、SS 大腸菌群数、油分等が定められている。

なお、水質汚濁防止の排水基準にはこのほかに、窒素含有量、磷含有量、フェノール類、銅、亜鉛、鉄、マンガン、クロム、弗素が加えられている。

精密水準測量

最も精度の高い水準測量で、地盤沈下や地殻変動等の調査のために実施される。精密レベルと精密標尺を用い、誤差ができるだけ消去されるように、又、最も小さくなるような測定方法がとられている。

騒音レベル

J I Sに規定される騒音計で測定して得られるホン、又はdB（デシベル）数である、騒音の大きさを表すものである。一般には騒音計の聴感補正回路A特性で測定した値をホン、又はdB（A）で表す。騒音の規制基準等はすべて騒音レベルによる。

総量規制

一定の地域内の汚染（濁）物質の排出総量を環境保全上許容できる限度にとどめるため、工場等に対し汚染（濁）物質許容排出量を割りあてて、この量をもって規制する方法をいう。個々の発生源に対する従来の規制のみでは地域全体として、健全な生活環境を維持することが困難な場合に、その解決手段として総量規制の方式がとられている。

大腸菌群数

大腸菌群は、人間又は動物の排泄物による水の汚染指標として用いられている細菌である。大腸菌には温血動物の腸内に生存しているものと、草原や畑などの土中に生存しているものがあるが、一括して大腸菌群として測定している。

WECPNL（うるささ指数 Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level）

航空機騒音のうるささを表す指数として用いられる。これは、1日の航空機騒音レベルの平均と時間帯ごとに重みづけされた飛行回数から算定され、航空機の総騒音量を評価する単位である。

窒素酸化物（NOx）

石油、ガス等燃料の燃焼に伴って発生し、大気中には主として一酸化窒素（NO）と二酸化窒素（N

O₂) が存在し、主な発生源は工場、自動車等である。窒素酸化物は人の呼吸器やねん膜に影響を与えるだけでなく光化学スモッグの原因物質の一つである。

中間処理

廃棄物の最終処分に先だて行われる人為的な操作等をいい、廃棄物を安全かつ安定した状態に変化させる、又は廃棄物を減量化する目的で行われる。主な方法としては、焼却、中和、熔融、脱水、破碎、圧縮等がある。

DO (溶存酸素 Dissolved Oxygen)

水中に溶けこんでいる酸素の量のこと。

水の自浄作用や水中生物の生存には欠くことのできないもので、きれいな河川水中には普通1ℓ中に7～14mg程度あるが、有機物の流入量が多くなり汚濁が進行するとそれらに消費されて減少する。

n-ヘキサン抽出物質 (油分)

動植物油脂、脂肪酸、ワックス、グリース、石油系炭化水素など油分の総称である。海水や工場排水などをn-ヘキサンの抽出し、n-ヘキサン可溶性物質として定量して、mg/ℓで表す。

ばい煙

燃料その他の物の燃焼等により発生する硫黄酸化物、ばいじん及び有害物質の総称である。ばいじんとはボイラーや電気炉等から発生する、すすや固体粒子をいい、有害物質とは物の燃焼、合成、分解等に伴って発生するカドウム、塩素、弗素、鉛、窒素酸化物等の人の健康又は生活環境に有害な物質をいう

火格子面積

焼却炉等のごみ層、火層に接して乾燥、燃焼等を行わせる火床部分を火格子(ロストル)といい、この水平投影面積を火格子面積という 炉の大きさを代表する寸法としてよく使われる。

BOD (生物化学的酸素要求量 Biochemical Oxygen Demand)

河川水等の有機物による汚濁の程度を示すもので、水の中に含まれている有機物が微生物によって酸化分解される時に消費される酸素の量をいい、数値が高い程有機物の量が多く汚れが大きい。

PCB (ポリ塩化ビフェニール)

DDTやBHCと同じ有機塩素系化学物質で、不燃性で熱に強く 絶縁性にすぐれている。カネ 油

症事件等PCB被害が問題となり 現在我が国では製造を中止され、使用も限定されている。

pH（水素イオン濃度）

溶液中の水素イオン濃度を示す尺度で、pH値が7のときを中性、これより数値の高い場合をアルカリ性、低い場合を酸性という。

ppm

ごく微量の物質の濃度や含有率を表すのに使われ、%が100分の1をいうのに対しppmは100万分の1を意味する。例えば、空気1m³中に1cm³の物質が含まれている場合、あるいは、水1kg中に1mg物質が溶解しているような場合、この物質の濃度を1ppmという ppmより微量の濃度を表す場合にはppb（10億分の1）も用いられる。

富栄養化

湖水中に栄養塩類（窒素、磷等）が少なく生物生産（プランクトンの増殖等）の少ない湖を貧栄養湖といい、栄養塩類が多く生物生産の多い湖を富栄養湖という 貧栄養湖から富栄養湖へと変化していく現象を富栄養化という。

浮遊粒子状物質

大気中に浮遊する粒子状物質であって、その粒径が10 μm以下のものをいう

特定フロン

塩素、フッ素、炭素の化合物でクロロフルオロカーボンと呼ばれ、CFCと表されており 冷蔵庫、カーエアコン等に使用されている。

フロン

フッ素と炭素の化合物の総称で、冷房等に使用されている。フロンには、オゾン層を破壊する力の強いクロロフルオロカーボンやその代替物質として使用されるハイドロクロロフルオロカーボン、ハイドロフルオロカーボン等の種類がある。

温室効果ガス

大気に含まれる二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素、フロンなどの気体には、太陽光線を素通りさせる一方、地表から宇宙に放出させる熱の一部を吸収して地表を暖める働きがある。

低公害車

大気汚染物質の排出量が少ない車で、電気自動車、メタノール車、天然ガス車、ハイブリッド車等がある。